

漁況予報 いわし

第175号

2013年1～2月漁期
(2013年1月17日発行)

※1 平年：過去5年平均
※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概況 =

【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は11月が1.1トン、12月が8.4トン（速報値）で、両月とも前年（11月30トン、12月60トン）および平年※1（11月20トン、12月53トン）を大きく下回りました。

魚体は未測定ですが、各地の水揚データによれば12月には小羽～中羽マイワシが主体に漁獲されました。

佐島地区のまき網は、11、12月ともマイワシの漁獲はありませんでした。

【2012年概況】神奈川県における2012年のマイワシ漁獲量は、主要定置網335トン、まき網343トンの合計678トン（速報値）で、前年（3,975トン）および平年（2,325トン）を大きく下回りました。これは例年夏季以降に漁獲される0歳魚（2012年級群）の来遊量が少なかったため、春シラス漁におけるマシラスの混獲率が低かったことから、本県周辺海域の2012年級群の資源水準は低いものと推定されます。一方、沖合域における2012年級群の資源水準は比較的高いと考えられ、同じく残存資源量が高い2011年級群とあわせ、2013年前半に1、2歳魚（中羽～大羽マイワシ）として本県沿岸にも来遊することが期待されます。

【カタクチイワシ】

主要定置網におけるカタクチイワシ漁獲量は11月が0トン、12月が1.8トン（速報値）で、両月とも前年（11月0.2トン、12月48トン）および平年（11月3トン、12月50トン）を大きく下回りました。

魚体は未測定ですが、聞き取りによれば12月には成魚サイズ（被鱗体長※2（以下同）10cm以上）の群が漁獲されました。

佐島地区のまき網は、11、12月ともカタクチイワシの漁獲はありませんでした。

【2012年概況】神奈川県における2012年のカタクチイワシ総漁獲量は、主要定置網2,214トン、まき網486トンの合計2,700トン（速報値）であり、不漁だった前年（2,236トン）をやや上回り、平年（3,184トン）並みの漁獲量でした。冬春季は小型～大型成魚（2010、2011年級群）主体の漁獲が好調でしたが、初夏以降に出現する0歳魚（2012年級群）が不漁であった前年以上に漁獲が少なく、夏季以降は定置、まき網とも極めて低調に推移しました。カタクチイワシ太平洋系群の資源は中位・減少傾向にあると推定されており、資源変動が本県の漁況に今後どのような影響を与えるか注視する必要があります。

【シラス】

相模湾のシラス船びき網によるシラス漁獲量（標本船データより推定）は、11月は前年並みで平年を大きく上回り（前年比1.2倍、平年比1.6倍）、つづく12月は

前年、平年をやや上回りました（前年比1.3倍、平年比1.4倍）。各地とも12月以降は、例年どおり徐々に漁獲量が低下して終漁を迎えました。

【2012年概況】神奈川県における2012年のシラス総漁獲量（標本船データからの推定値）は、前年および平年並みの472トンとなりました（前年比、平年比とも0.8倍）。春季（3～5月）は相模湾全域で不漁が続き、過去20年間で3番目に低い漁獲量となりました。6月には湾西部で、7月には湾全域で漁が好転し、8月上旬まで好漁が継続しました。8月中旬～9月下旬には再び不漁傾向となりましたが、10月以降は平年を上回る漁模様が継続しました。

= 予報 =

【マイワシ】

今漁期は、2012年生まれの小羽～中羽マイワシ（12～16cm）を主体に、2010、2011年生まれの大羽マイワシ（18cm以上）も漁獲されるでしょう。

今漁期の漁獲量は、マイワシ太平洋系群の資源量の推移から、前年をやや下回る約140トンと予測されます。

【カタクチイワシ】

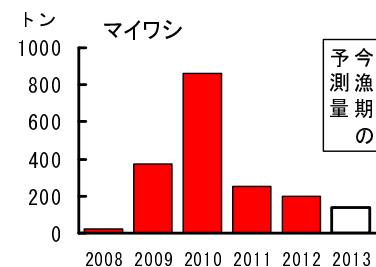
今漁期は、2011、2012年生まれの小型～大型成魚（10～14cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、11～12月の県内主要定置網の漁獲量から、前年を大きく下回る約160トンと予測されます。

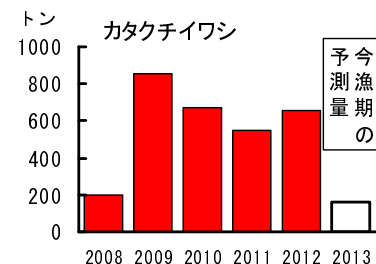
【シラス】

神奈川県の上り漁は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では解禁後の漁況予測のため、神奈川県上り船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年も1～3月に禁漁期調査を実施します。調査の状況については、次号で報告する予定です。

過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

神奈川県水産技術センター資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313